



# 竹の子通信

令和4年7月号

香川県立多度津高等学校定時制課程



皆さんこんにちは。多度津高校定時制です。6月末に定時制・通信制課程の総体が終わり、多高定時制は落ち着きを取り戻してきました。また、全国定通総体の出場権を獲得した部は、それに向けて準備を始めています。今回は5月、6月の様子を皆さんにお届けします。

## 1. 授業風景

授業中に各クラスに潜入して、授業風景をカメラに収めてきました。中学校と同じ風景もあれば、中学校では見慣れない風景もあると思います。少しでも興味を持ったものがあれば、中学校の先生に相談して、ぜひ見学に来てください。



3年機械科「実習」の時間です。マンツーマンで“旋盤”の使い方を教わっています。切削のスキルを身につけます。



3年電気科「電子技術」の時間です。難しい座学の内容も、理解できるようになるまで、面倒見ますよ。



2年機械科「家庭基礎」の時間です。共通教科も少人数のメリットを活かして、きめ細かな指導をしています。

## 2. 1学期中間考査

多高定時制では1年間に5回の定期考査があります。中間考査は4日間。期末考査は5日間かけて行われます。1日に受ける科目を減らして、試験勉強に集中できるようにしていますよ。さて、5月に行われた1学期中間考査は1年生にとって初めての考査。緊張した様子で試験問題に取り組んでいました。



1年機械科の生徒が「現代の国語」に取り組んでいます。1学期中間考査もこれが最後。最後の最後まで集中力を切らすことなく試験に挑んでいました。



3年電気科の生徒が「電力技術」に取り組んでいます。授業中に分かるようになるまで教えてもらったので、高得点間違いなし！という雰囲気はこちらにも伝わってきました。



4年機械科の「課題研究」。実技系科目は試験がないので、授業へ取り組む姿勢などで評価が決まります。

### 3.工場見学

5月25日(水)、大王製紙三島工場の見学に行ってきました。東京ドーム約36個分もある広大な敷地を社員の方に説明していただきながら見学してきました。最新の設備や見たこともない大型の重機や船舶。日々の授業と現実社会の繋がりを感じることができました。



最初に全員で大王製紙三島工場の概要についての説明を聞きました。その後、3・4年生と1・2年生に分かれて見学しました。



紙の原料のパルプと巨大な重機の前で。遠く離れた寒帯林や熱帯林で伐採した木材の端材を使うことで、SDGsに繋がっているそうです。



巨大なティッシュ原反が最新の機械によって加工されていきます。機械だけでなく、それを支える電気設備にも着目して、見聞を深めてきました。

### 4.定通総体

6月26日(日)、屋島陸上競技場、高松高校、高松工芸高校などを会場にして行われた、定通総体に参加しました。多高定時制では、6月に入ると短縮授業になり、全員が陸上競技部、バドミントン部、卓球部、ソフトテニス部のいずれかに所属して練習し、総体に参加します。

#### ☆バドミントン部



団体準優勝、シングルス3位と健闘しましたが、あと一步で全国総体を逃しました。しかし、表彰式後には笑顔が溢れ、お互いをたえ合いました。

#### ☆卓球部



総体練習ではサーブ練習に熱心に取り組みました。大会当日は、サーブを有効的に使い、積極果敢に攻撃したので、初戦を突破することができました。

#### ☆陸上競技部



今年は100mに絞って出場しました。梅雨とは思えない強い日差しの中、自己ベストを目指して走り抜き、全国総体出場権を獲得しました。

#### ☆ソフトテニス部



今年度は、予選がありませんでした。予選を戦って、全国に行きたかったのですが、せっかく全国の切符を手に入れたので、全国で実力を発揮してきます。